

# イトレーター

低周波 超短波 家庭用治療器

ひまわりSUN PLUS<sup>+</sup> プラス

添付文書

## 取扱説明書



管理医療機器  
 低周波・超短波組合せ家庭用医療機器(JMDNコード:70996000)  
**ひまわりSUN PLUS**  
 医療機器認証番号 231ACBZX00004000

### 目次

正しく安全にお使いいただくために……	2~13
一般的注意事項 ……………	4
使用前のご注意 ……………	6
使用中のご注意 ……………	9
使用後のご注意 ……………	11
保管方法及び有効期間等 ……………	11
取扱上のご注意 ……………	12
保守・点検に係る事項 ……………	12
<b>ひまわりSUN PLUSの構成内容 ……………</b>	<b>14</b>
<b>本体の各部名称とはたらき ……………</b>	<b>16</b>
<b>ひまわりSUN PLUSの主な特長 ……………</b>	<b>20</b>
<b>低周波</b>	
ご使用前の準備 ……………	22
ローラー&スポット導子<SR-A>の準備 ……………	25
本体の操作方法 ……………	26
基本的な使用例 ……………	28
<b>超短波</b>	
ご使用前の準備 ……………	29
超短波スポット導子<ハンドル付・Sひまわり>の 組み立て方法 ……………	31
本体の操作方法 ……………	32
基本的な使用例 ……………	36
<b>こんなときどうしたらいいの? ……………</b>	<b>38</b>
<b>エラー (E1~E5) について ……………</b>	<b>39</b>
<b>故障かな?と思ったら ……………</b>	<b>40</b>
<b>操作早わかり ……………</b>	<b>42</b>
<b>お客様安心サービス ……………</b>	<b>裏表紙</b>
・保証書とユーザー登録カードについて	
・アフターサービス ・ISO認証取得 ・健康セミナー	

このたびは「ひまわりSUN PLUS」をお買い求めいただき、ありがとうございます。  
 本器を使用する前に取扱説明書をよく読み、正しくお使いください。  
 また、いつでもお読みいただけるよう、大切に保管してください。

# 正しく安全にお使いいただくために

- 取扱説明書は本治療器を安全にお使いいただくために必要です。治療器を人に貸したり、差し上げるときには必ずこの取扱説明書を一緒にお渡してください。
- ご使用前に、この「取扱説明書」をよく読み、注意事項を守り正しくお使いください。

## 禁忌・禁止

次のような人及び部位には、使用しないでください。

	超短波	低周波
・糖尿病などによる高度な末しょう(梢)循環障害による知覚障害のある人	×	×
・重度な血行障害のある部位	×	×
・中程度以上の重い浮腫のある部位	×	×
・血友病などの出血性素因の高い人	×	×
・温熱に対して感覚の鈍い人や温度感覚喪失が認められる人	×	×
・金属製物質（人工骨頭、埋没くぎ、金属製クリップなど）やプラスチックなどを体内に植え込んだ部位	×	
・刺青及びその周辺部位・ラメ素材など化粧品が使用されている部位	×	
・出血部位または月経時の腹部	×	
・乳幼児（6才以下）	×	
・男性生殖器	×	
・適用部位の皮膚に異常（感染症、創傷など）のある人	×	×
・静脈怒張の皮膚表面（静脈が浮き出る状態）		×
・萎縮性拘縮を起こしている皮膚表面		×
・頭部（脳、目、耳など）	×	×
・頸動脈洞上		×
・その他、医師が不相当と認めた人	×	×

## 併用禁忌

・ペースメーカー、植込み型除細動器などの電磁障害の影響を受けやすい体内植込み型医用電気機器とは同時に使用しないでください。	×	×
・心電計などの装着形の医用電気機器とは同時に使用しないでください。	×	×
・補聴器は外してください。	×	
・他の医療機器とは同時に使用しないでください。使用する場合は時間をずらして使用してください。	×	×
・他の電気機器とは同時に使用しないでください。使用する場合は時間をずらして使用してください。	×	

- あなたや他の人への危害や財産への損害を未然に防止するために、下記のような絵表示をしています。危害や損害の程度を表していますので、内容を理解してから本文をお読みください。

**危険**

取扱いを誤ると、人が死亡または重傷を負う危険が差し迫っていることが想定される内容を示します。

**警告**

取扱いを誤ると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示します。

**注意**

取扱いを誤ると、人が傷害を負う可能性、または物的損害が想定される内容を示します。

**表示例**

は、本器の取扱いにおいて、発火、破裂、高温などに対する注意を喚起するための絵表示です。

※表示例は「感電注意」です。



は、本器の取扱いにおいて、その行為を禁止する絵表示です。

※表示例は「分解禁止」です。



は、本器の取扱いにおいて、指示に基づく行為を強制する絵表示です。

※表示例は「プラグをコンセントから抜く」です。



愛情点検


は、修理点検の確認をお願いする絵表示です。


この取扱説明書のイラストはイメージであり、実際とは異なる場合があります。

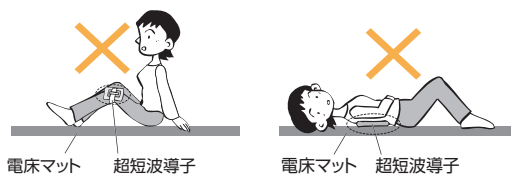
# 正しく安全にお使いいただくために

## 一般的注意事項


### 危険


 浴室などの湿度の高い所では使用しないでください。


 電床マットの上では、超短波（マイクロ波を含む）を使用しないでください。  
電床マットが焦げて火傷または熱傷、火災などの恐れがあります。（電床マットが本体に接続されていない場合も同様です）





### 警告


 他の治療器の部品や付属品などを流用しないでください。  
規格や仕様が異なるため、事故や故障の原因となります。

 治療や日頃の健康管理以外の目的で使用しないでください。  
特にペットへの使用は避けてください。


 本体背面の通気孔をふさぐような使い方（布団の上や下に置いたり、壁に寄せるなど）はしないでください。  
本体内部が熱をもち、故障の原因となります。


 本体を寒い場所から温かい場所に移動した直後に使用しないでください。  
本体内部で「結露現象」が生じる恐れがあります。この状態で使用すると表示部の誤作動や故障の原因となります。使用するときは、移動後2時間以上経過してから電源を入れてください。


 交流100V、50/60Hz以外では使用しないでください。  
規格の異なる海外での使用は発火、ショート、感電などの原因となります。


 本体の出力口に差し込んだプラグを踏みつけたり、大きな力を加えたりしないでください。  
プラグや出力口が破損し、事故や故障の原因となります。


### 警告

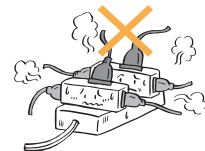
 定められた手順で操作してください。また、子供には操作させないでください。  
操作を誤ると事故や故障の原因となります。

 本体の上に重いものや飲み物などを置かないでください。  
内部に水が入ると発火・ショートなどの事故や故障の原因となります。


 コード類のプラグにゴミ、ほこりなどを付着させたまま使用しないでください。  
発火、ショートなどの原因となります。

 電源コードなどすべてのコード類を傷つけたり、破損したり、無理に引っ張ったり、曲げたり、ねじったり、束ねたり、挟み込んだりしないでください。

 コンセントや配線器具の定格容量を超える使い方はしないでください。  
タコ足配線などで定格容量を超えると発熱による火災の原因となります。また、タコ足配線をするると本器や他の電気製品がお互いに誤作動する可能性があります。



 水のかからない場所に設置してください。

 補助を必要とする人（子供を含む）には使用させないでください（ただし、保護者、医師または専門家の監督下で使用する場合は除く）。また、子供が機器本体及び導子の上で遊んだり、上に乗ったりしないようにしてください。

## 注意

- ! 使用しても効果が現れない場合は、医師または専門家に相談してください。
- ! 温度、湿度、日光、ほこり、及び塩分・イオウ分を含んだ空気などにより悪影響の生ずる恐れのない場所に設置してください。  
劣化を早め、事故や故障の原因となります。
- ! 本体は安定状態を保つように心がけ、傾斜、振動、衝撃（運搬時を含む）などが発生しないように注意してください。

## 注意

- ! 治療部位や症状、回数などは年齢や体調などにより個人差があります。取扱説明書をよくお読みになり、定められた使用時間を超えないようにしてください。不明な点はお求めの販売店またはお客様センター（P.41）に相談してください。

## 超短波

## 危険

- ⊘ 電源が入っていない状態、あるいは電源コードを接続していなくても、導電性のあるものの上では使用しないでください。  
例) 電位（高周波・負電荷を含む）電床マット、電気毛布や敷布、電気カーペット  
電気毛布や電床マットが焦げて火傷または熱傷、火災などの恐れがあります。

## 警告

- ! 超短波導子にソース・醤油・墨汁・インクなどをこぼした場合は、火傷または熱傷、ならびに焼け焦げの原因となりますので、新しい導子と交換してください。また、導子カバーは、洗濯などで汚れを落とし、十分乾燥させてからご使用ください。
- ⊘ 超短波導子は水に濡らさないでください。万一濡らしてしまった場合は、使用せず、新しい導子と交換してください。

## 警告


- ! 治療中、温感が高すぎると感じたときは、我慢せずに治療を中止してください。または、タオルなどをあてて、熱さを弱めて治療してください。
- ⊘ 導子を強く折りたたんだり、きつく丸めたり、重いものを乗せたりしないでください。
- ⊘ 他の治療器や電気製品（電気毛布や電気カーペット、敷布、こたつ、あんかなど）との同時使用はしないでください。  
過度な刺激で体調を損なったり、電気製品が誤作動したり、電気カーペットが焦げるなど事故の原因となります。
- ⊘ 電動ベッドの上で治療器を使用する場合は、必ず電動ベッドの電源を抜いてください。  
誤作動や故障の原因となります。





# 正しく安全にお使いいただくために

## 使用前のご注意

警告


- 

導子（コード、プラグを含む）の損傷やコネクターの接続不良などが無いか、使用前に確認してください。万が一、不具合が確認された場合は、使用しないでください。販売店または製造販売元へお問い合わせください。
- 

導子を使用する際は、正しく装着してください。また、同じ部位で2つの導子を重ねて治療しないでください。
- 

全てのコードは容易に離脱しないように正しく確実に接続してください。また、同じ部位で2つの導子を重ねて治療しないでください。  
発火やショートなどの原因となります。


警告

- 

しばらく使用しなかった治療器を再使用するときは、使用前に必ず治療器が正常かつ安全に作動することを確認してください。また、6ヶ月以上使用しなかった場合は、使用前に販売店で点検を受けてください。

スイッチなどを入れ、本体と付属品が正常かつ安全に作動するか確認してください。


注意

- 

スイッチ、タイマーなどが正常に作動するか確認してください。

### 超短波

警告

- 

次のものを身に付けたまま使用しないでください。また、ご不明な点は販売店または製造販売元へお問い合わせください。


  - 使い捨てカイロ
  - 金属類（ネックレス、ベルト、時計、メガネ、イヤリング、車のキー（キーレスエントリーキー含む）など）
  - 導電性衣料（光により熱が高まる機能繊維、サンダーロン<sup>®</sup>繊維使用もしくはジャンヌ・ダルクなどのサンダーロン<sup>®</sup>繊維、ヒートテック<sup>®</sup>などの吸着発熱素材を含む肌着などの衣料、ラメ入り、金糸・銀糸入りや炭素繊維・静電気防止用繊維など）


また、次のようなものの上や周囲では使用しないでください。


  - 特殊綿（プラチナ繊維、トルマリンなど）や炭素材入り布団・まくら
  - 磁気入り布団
  - 墨入り（炭素材など）の畳
  - ソース・醤油・墨汁・インクなどのシミがついた座布団・布団・畳


火傷または熱傷などの事故の原因となります。


警告

- 

絆創膏または湿布などの湿った包交物、金属物を含む絆創膏の上への照射は避けてください。
- 

治療部位の皮膚が乾燥していることを確認してください。湿布剤、塗膏剤などが塗られていたり、汗などで濡れている場合は、必ず拭き乾燥させてください。  
皮膚が濡れたままで治療すると火傷または熱傷の原因となります。
- 

2つの導子が重なる状態で放置したり、重ね合わせて使用したりしないこと。また、コードを束ねたり、巻きつけて使用したりしないでください。  
熱をもち事故や故障の原因となります。
- 

気分が悪くなることがありますので、空腹時、腹部に超短波を照射することは避けてください。
- 

汚れた衣服や汗などで濡れたタオルを使用して治療をするのはおやめください。

※ 「サンダーロン」、「ジャンヌ・ダルク」、「ヒートテック」は、それぞれ各社の商標または登録商標です。

警告

使用中の導子を本体や金属類（電気製品、ワゴン、ラメ入り畳や座布団など）、付属品類（電床マット、粘着パッド、接続コードなど）の上に絶対に置かないでください。

熱を持ち事故や故障の原因となります。

おむつを使用している部位へは照射しないでください。

火傷などの危険があります。

注意

金属棒を使用したイスやベッドなどの上で使用しないでください。

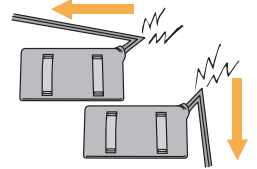
ピリッとしたり、火傷または熱傷の原因となります。また、治療中に周囲のイスやベッドなどの金属部や、他の人に触らないよう注意してください。

注意

導子コードは、超短波の影響を受けやすいもの（金属や炭素繊維、電気機器など）や、他の電気製品のコードと接触しないように配置してください。

下図のような方向にコードが引っ張られないように、超短波治療器本体を置いてご使用ください。

コード付け根部分の芯線が断線しやすくなります。



導子が濡れている場合には、使用しないでください。

低周波

警告

治療部位が汗やお風呂あがりなどで濡れていないか確認し、きれいに拭いてください。

濡れたままですと、火傷の原因となります。

心臓部へ粘着パッドをあてるのは、絶対におやめください。

警告

口中・陰部などには、使用しないでください。

けがなどの原因となります。

次の人は、医師と相談の上、使用してください。

警告

- ！ 病名などがはっきりしない人
- ！ 悪性しゅよう（腫瘍）のある人
- ！ 心臓に障害のある人
- ！ 妊産婦
- ！ 体温38℃以上（有熱期）の人  
例1) 急性炎症症状 [けん（倦）怠感、悪寒、  
      血圧変動など] の強い時期  
例2) 衰弱しているとき

警告

- ！ 安静を必要とする人
- ！ 血圧異常の人
- ！ せきつい（脊椎）の骨折、ねんざ（捻挫）、肉離れなど、急性 [とう（疼）痛性] 疾患の人
- ！ その他医師の治療を受けている人や身体に異常を感じている人
- ！ 寝たきりの人

超短波

警告

- ！ 血栓症の人
- ！ 低温やけどをしたことのある人

# 正しく安全にお使いいただくために

## 使用前のご注意 (つづき)

次の人は医師と相談の上、使用してください。(つづき)

### 低周波



- ! 血管障害の恐れのある血圧異常の人

次の人は介護者のもとで使用してください。



- ! マヒなどで身体の自由が利かない人
- ! 12歳以下の子供

次のような人や部位への使用は、慎重に判断してください。



- ! 認知症の人や、意思表示ができない人
- ! 判断能力を欠くほどお酒を飲んだ人
- ! 睡眠薬を飲んだ人 (判断能力を欠き事故の原因となります)

### 超短波



- ! 皮膚知覚が低下している人、または部位
- ! 成長期の子供の骨端、または骨が非常に突起した部位

### 低周波



- ! 血管障害の恐れのある血圧異常の人
- ! 皮膚知覚が低下している人や部位
- ! 胸部近辺



## 使用中のご注意

### 警告

- !** 本器に異常を感じたとき(異常音がする・本体が熱いなど)は、直ちに使用を中止してください。

電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。
- !** 身体に異常を感じたり、現れたりしたとき(発赤など)は、直ちに使用を中止し、医師に相談してください。

症状が悪くなることがあります。
- !** 治療目的に合った治療時間・出力を超えないように注意してください。
- !** 雷や地震、停電時は使用を中止し、スイッチなどを元の位置に戻し、電源プラグをコンセントから抜いてください。

復帰時に事故や故障の恐れがあります。

### 警告

- !** 導子に金属を接触させたり、出力口に金属製の棒やハサミ、ピンなどを差し込まないでください。また、導子のコードには金属類を近づけたり、他の電気のコードと交わらないようにしてください。

感電、発火の原因となったり、他の電気製品に異常を起こすなどの恐れがあります。

### 注意

- !** 本器は使いやすい姿勢で、緊張せずにリラックスして治療してください。
- !** 粘着パッドを使用し、身体に異常を感じたり、発疹、発赤、かゆみなどが現れたりした場合は、直ちに使用を中止し、医師に相談してください。
- !** 使用中、導子コードの抜き差しをしないでください。また、抜くときは電源が切れていることを確認してください。

事故や故障の原因となります。

## 超短波

### 警告

- !** 使用当初、低血圧や貧血、または虚弱体質の人は、疲労感を覚えることがあります。また、身体異常(発赤、腫脹、頭痛、ふしぶしの痛みなど)が現れたり、感じたときは、直ちに使用を中止してください。

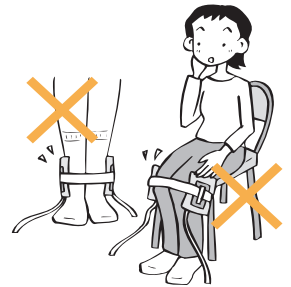
中止しても症状が軽減しない場合は、医師に相談してください。
- !** 導子コードは特性上、使用中に一定の熱を持ちます。また、長時間の使用や使用方法、出力設定などによっては、温度が上昇することがあります。
- !** 超短波導子は素肌の上から直接あてず、また、コードも直接素肌に触れないようにして、必ず乾いたタオルや服の上からあててください。

直接あてると、火傷または熱傷などの原因となります。
- !** ヒジ・ヒザなど骨のとび出た部位へ導子をあてるときは、衣服の上から使用する場合でも、乾いたタオルをあてがってください。

火傷の原因となります。

### 警告

- !** 足首や膝を合わせた状態で左右両側から導子をあてる治療は、絶対にしないでください。タオルなどをあてがっても、左右の足が触れることがあり、接触部に火傷または熱傷を起こす恐れがあります。



- !** 超短波導子のパッドとイス・ベッド・床などの間にコードが挟まった状態で使用しないでください。

パッドがコードに作用して、異常発熱する恐れがあります。



- !** 治療中に汗をかいた場合は、すぐに拭いてください。

火傷の原因となります。

# 正しく安全にお使いいただくために

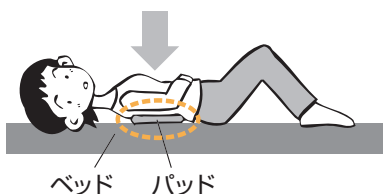
## 使用中のご注意 (つづき)

### 超短波

警告

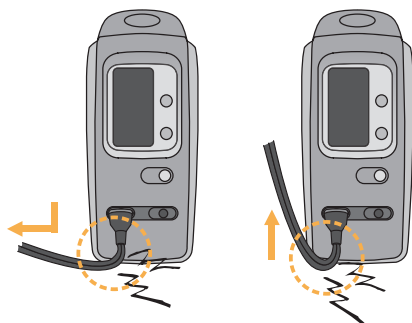
- 超短波導子のパッドが身体とイス・ベッド・床などの間で強く圧迫された状態での使用はお避けください。

パッドが異常発熱したり、火傷または熱傷をする恐れがあります。またイス・ベッド・床・布団などが焦げる恐れもあります。



- 使用中、下図のような方向にコードを引っ張らないでください。また、超短波導子を抜く際は、プラグを持って抜いてください。

プラグの根元や内部で断線しやすくなります。



### 低周波

警告

- 身体が慣れてからも、低周波を15分以上かける場合は、「快く感じる」程度の出力で治療してください。

- 刺激感覚が低下している方は、はじめは通常よりも出力を特に弱めにしてください。

注意

- 治療中にむやみに超短波導子やコードに触れないようにご注意ください。導子などに触れる場合は、一度電源を切ってください。

チリッと熱い感覚を受けることがあります。


- 厚手の衣服やタオルを厚めにして使用した場合、温感が感じにくい場合があります。

- 電話(携帯電話を含む)やインターフォン、テレビのリモコンやパソコン、精密機器などを使用しながら治療しないでください。また使用中の電話機やインターフォン、自動ドアや火災報知器のセンサーの近くで治療しないでください。


電話機にノイズが入ったり、故障の原因となります。他の電気製品とはできるだけ(2m以上)距離をあけて使用してください。他の電気製品に異常を起こしたり、逆に電気製品の影響で異常が発生したりする恐れがあります。

## 使用後のご注意




 電源を切ってから電源プラグをコンセントから抜いてください。




 コード類の抜き差しは必ずプラグを持って行ってください。


コードを持って行くと断線やショートなどの原因となります。




 電源コードを本体背面のフックに巻き付ける際、コードを強く巻き付けると本体からのコード引き出し部やコード自体にストレスが加わり断線する恐れがあります。



 使用中断する場合や使用後は必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。導子のプラグも出力口から抜くなど、治療後は使用前の状態に戻してください。


 次回の使用に支障がないように清浄し、付属品袋に入れて、整理保管してください。また、お手入れは水かぬるま湯を含ませて固く絞った布で拭いてください。水洗いなどはしないでください。

変色・変形の原因となるのでシンナー、ガソリン、灯油などの揮発油や磨き粉、熱湯、薬品類で拭かないでください。

 機器を衛生的に保つための清掃、予防点検及び保守に関しては、「保守・点検に係る事項」(P.12)をご覧ください。

### 低周波




 ご使用後は、皮膚は清拭して常に清潔にしてください。

## 保管方法及び有効期間等


保管場所については次の事項に注意してください。故障の原因になることがあります。





 風呂場、台所、車の中、火気の近く、直射日光の当たる場所など、湿度の高い場所やほこりの多い場所、水のかかる場所ならびに塩分・イオウ分を含んだ空気などにより悪影響の生ずる恐れのある場所には保管しないでください。

機器の寿命を縮めたり、熱や水分などにより本体変形や、火災や感電などの原因となります。



 長期間ご使用にならない場合は、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。絶縁劣化による感電や漏電火災の原因となります。






 お子様の手の届かない所に保管してください。落としてけがや破損の原因となります。

 本体は安定状態を保つように心がけ、傾斜、振動、衝撃（運搬時を含む）などが発生しないように注意してください。



# 正しく安全にお使いいただくために

## 取扱上のご注意

警告

-  濡れた手で本体の操作は、絶対におやめください。  
感電の原因となります。
-  機器及び付属品または容器・包装品などを廃棄する場合は、環境への影響を少なくするため、地域で定められている規則に従って処分してください。
-  本体や付属品が傷ついたり破損している場合は、使用しないで買い求めの販売店または製造販売元へご連絡ください。
-  本体ケースは絶対に開けないでください。内部は高電圧が発生しており、感電する恐れがあります。
-  間違った使用や乱暴な取り扱い、あるいは長年の使用は、コードの断線などにより、火傷または熱傷・火災など思わぬ事故の原因となることがあります。




警告

-  機器を他にぶつかけたり、倒したり、落下など強い振動や衝撃を与えないでください。そのときに異常がなくても内部の損傷が進み、故障、事故の原因になることがあります。  
誤って落とした場合は、必ず点検を受けてください。
-  一度使用した医療機器（中古医療機器）を業として他に販売、譲渡または貸与する場合は、必ず事前に製造販売元へ連絡してください。  
点検・修理を行い安全を確認された機器以外は、販売・貸与・譲渡はできません。  
注）販売・貸与を業として行うには、「管理医療機器販売業」と「管理医療機器貸与業」の届けをして、さらに「古物営業法」の許可を受けていることが必要です。




## 保守・点検に係る事項

### 注意事項

警告

-  本体や付属品を勝手に修理したり、改造したりしないでください。  
故障かなと思ったら使用を中止し、買い求めの販売店または製造販売元へお問い合わせください。
-  本体及び付属品のお手入れに際しては、シンナー、ガソリン、灯油などの揮発油や磨き粉、熱湯、薬品類で拭かないでください。変色、変質の原因となります。  
アルコール、水、ぬるま湯または中性洗剤を含ませて、固く絞った布で拭いてください。
-  3年以上使用した付属品による事故については、当社は責任を負いかねる場合があります。

警告

-  本体ケースは絶対に開けないでください。内部は高電圧が発生しており、感電する恐れがあります。
-  本体や付属品は安全に使用し、性能を維持するために定期的（1年を目安）に点検を受けましょう。特に導子類の付属品は消耗品ですので、定期的に交換してください。  
使用状態・条件により異なりますので、販売店または製造販売元へお問い合わせください。
-  本体のお手入れは、電源プラグをコンセントから抜いて行ってください。  
感電などの事故の原因となります。

## 超短波

警告

！ 超短波導子は消耗品です。より安全にお使いいただくために、無理な使用は避け、丁寧に取り扱ってください。

また、使用頻度、条件により異なりますが、ご家庭で通常の使用状態で、年1回は点検を受け、付属品は遅くとも3年以内で早めに交換してください。

万一、コードに折れやキズ、焦げ跡があったら使用を中止し、即交換してください。

### 使用者による保守点検事項

警告

愛情点検 機器及び付属品は使用に際し、正しく動作することを日常的に点検してください。

愛情点検 しばらく使用しなかった機器を再使用するときは、使用前に必ず機器が正常かつ安全に動作することを確認してください。

警告

愛情点検 事前のチェックや点検などで不具合（付属品の絶縁：電源コードなどコード類のキズ、ひび割れ、断線のしかかり、電源プラグやコネクタの接続不良など）が見られた場合は必ず販売店または製造販売元にご連絡ください。

### 業者による保守点検事項

注意

愛情点検 性能を維持し、安全に使用するため、定期的（1年を目安）にお求めいただいた販売店または製造販売元に「定期点検」を依頼してください。

注意

！ 消耗部品（付属品を含む）は定期的に変換し、付属品及び機器使用中の危険防止を図ってください。

### 保守点検項目

項目	内容	方法
外観及び表示について	外観に損傷はないか、パネルは変形していないか、表示がちらついたりしていないか確認する。	目視による確認
操作	電源スイッチをONにし、正常に動作するか、不具合はないか確認する。	操作による確認
付属品	損傷部分はないか、コードに断線部分はないか確認する。	目視による確認

### 交換部品及び消耗品

名称	交換方法	交換時期
超短波導子	販売店または製造販売元に依頼	点検により劣化が認められたとき
接続コード		購入から3年が目安
粘着パッド		粘着力が弱まったと感じたとき
装着ベルト		劣化が認められたとき



# ひまわりSUN PLUSの構成内容

本器を初めてご使用になる前に、以下の付属品が揃っているか必ずご確認ください。

## 本 体

※本体の各部名称とはたらきについてはP.16～19をご覧ください。



製品名	ひまわりSUN PLUS
定格電源	AC100V 50/60Hz
定格消費電力	超短波 165W / 低周波 12.6W
本体寸法(mm)	180 (幅) × 385 (奥行) × 435 (高さ)
本体重量	約 7.0 kg

### ●超短波

周波数	27.12MHz ± 162.72kHz
超短波出力	最大 40W ± 20%
タイマー	最大 30分

### ●低周波

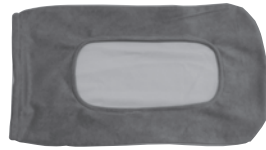
最大出力電流	20.0mA (実効値) ± 25%
基本周波数	最大 500Hz ± 25%
定格出力電圧	80V ± 25%
タイマー	最大 30分



## 標準付属品



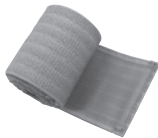
オレンジ導子〈Sひまわり〉



オレンジ導子〈Sひまわり〉用カバー  
工場出荷時はオレンジ導子〈Sひまわり〉  
にセットされています。



付属品収納袋



装着ベルト〈L・AW〉

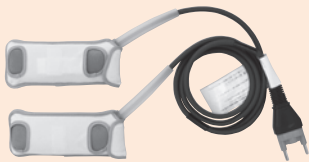


粘着パッド  
〈M・Aタイプ〉



接続コード  
〈φ2 赤・黒・低周波用〉

## 別売オプション品



ピンク導子〈S・関節〉



ピンク導子〈肩〉



ピンク導子〈Sひまわり〉



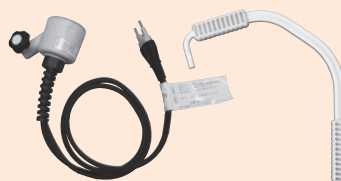
ピンク導子〈Sひまわり〉用カバー  
工場出荷時はピンク導子〈Sひまわり〉  
にセットされています。



装着ベルト〈L〉



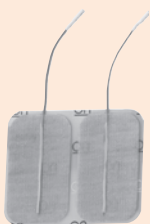
装着ベルト〈S・AW〉



超短波スポット導子  
〈ハンドル付・Sひまわり〉



ローラー & スポット導子〈SR-A〉



粘着パッド  
〈L・Aタイプ〉



粘着パッド貼付台紙

# 本体の各部名称とはたらき



本体正面

## 操作パネル

## 電源スイッチ

スイッチを押して、電源の「入」「切」を行います。電源が入るとタイマー表示が「20」分を表示します。

「入」の状態



「切」の状態



## 低周波出力口

接続コードのプラグを差し込みます。

※プラグは確実に差し込んでください。

## 超短波出力口

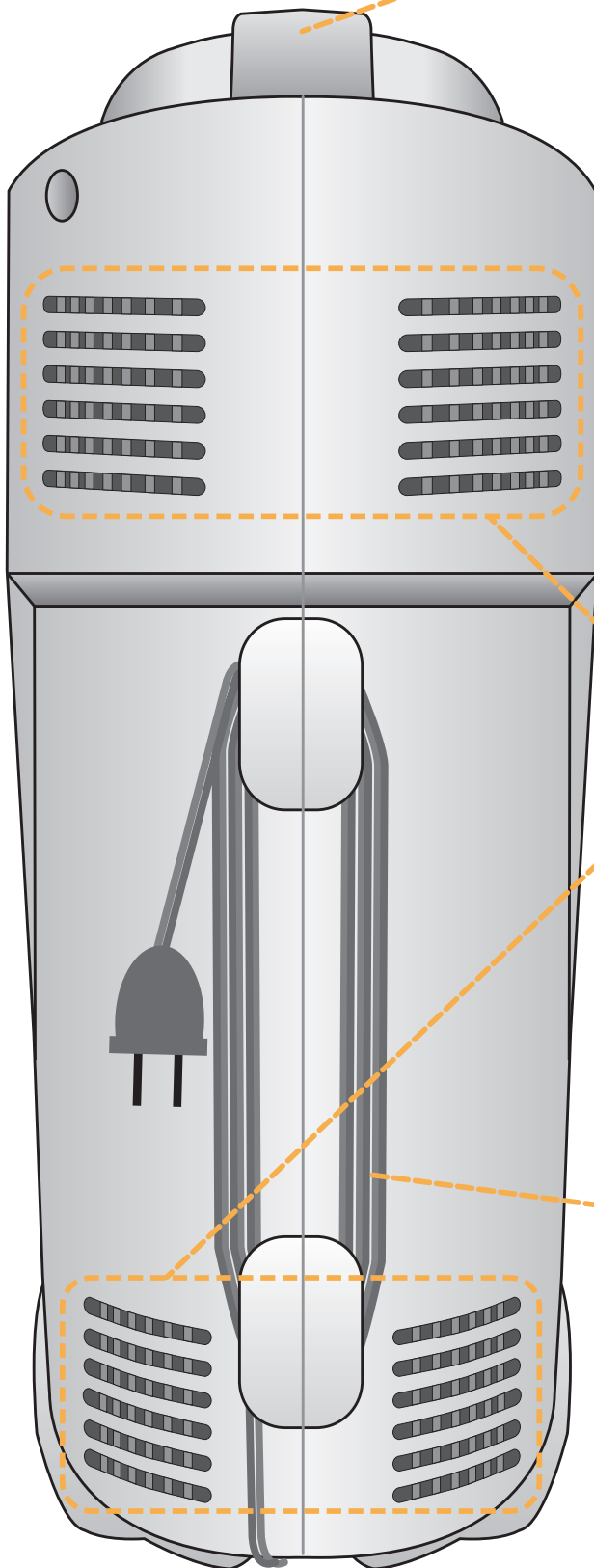
超短波導子のプラグを差し込みます。

※プラグは確実に差し込んでください。

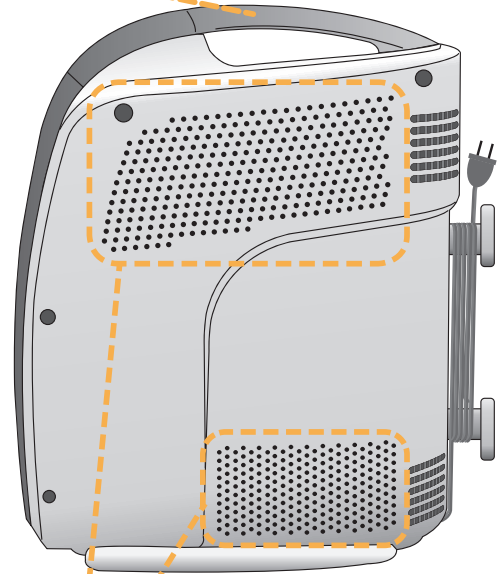
## 取手

移動の際はしっかり持って行ってください。

※取手の裏側に爪をひっかかないよう注意してください。



本体背面



本体側面

## 通気孔 (背面・側面)

通気孔をふさがないでください。壁に寄せて使用しないでください。

※本体内部が熱を持ち、故障や発火の原因となります。

また、通気孔につくほこりは、定期的に掃除機などで吸い取ってください。

## 電源コード (プラグ)

家庭用コンセント (100V) にプラグを差し込みます。使用しないときは必ずコンセントから抜いてください。

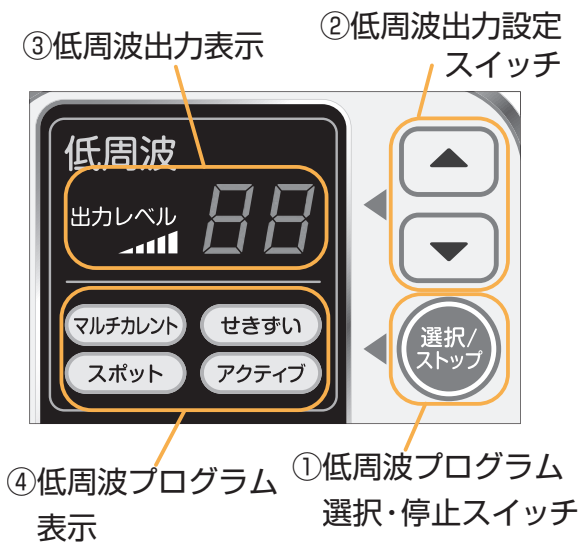
※電源コードを本体背面のフックに巻き付ける際、コードを強く巻き付けると本体からのコード引き出し部やコード自体にストレスが加わり断線する恐れがあります。

# 本体の各部名称とはたらき (つづき)



操作パネル

低周波出力設定について



①低周波プログラム選択・停止スイッチ

スイッチを押して、低周波治療プログラムを選択します。  
出力中にスイッチを押すと、出力が停止します。

②低周波出力設定スイッチ

スイッチを押して、低周波の出力値を設定します。  
(最大：50)

④低周波プログラム表示  
①低周波プログラム  
選択・停止スイッチ

タイマー設定について



①タイマー表示

治療の残り時間を表示します。  
※0分表示のときは出力していません。

②タイマー設定スイッチ

治療時間を変更する場合は、スイッチを押し、5分・10分・15分・20分・25分・30分のいずれかに設定することができます。

■エラー表示

異常が発生した場合、タイマー表示にエラー  
(E1～E5)が表示されます。  
※詳しくは、P.39をご覧ください。

超短波出力設定について



①超短波治療開始・出力設定スイッチ

スイッチを押すと、超短波の出力が始まります。

②超短波出力表示

超短波治療開始・出力設定スイッチで選択した  
出力レベルが点滅・点灯します。

③超短波導子交換警告表示

接続されている超短波導子の使用時間が  
定められた時間を超えたとき、ランプが  
点灯します。その場合、超短波導子を交  
換してください。

# ひまわりSUN PLUSの主な特長

- 1台で2種類の電子療法が行えます。

## 超短波療法

衣服や乾いたタオルの上から使用します。  
電波の作用で身体の内側からあたためます。

- 治療部位に応じた出力レベルの選択により簡単に治療ができます。

## 低周波療法

皮膚に直接あてて、電流が神経や筋肉を刺激して治療します。

- マルチカレント 身体を心地よく刺激し、筋肉のこりをやさしくほぐします。
- せきずい 心地よい電流の刺激で神経の痛みをやわらげます。
- スポット 患部の局所治療を行えます。
- アクティブ 筋肉の萎縮予防のためのトレーニングプログラムです。

- 分かりやすい表示で操作もシンプルなので、毎日手軽に使えます。

## 使用目的又は効果

使用目的：一般家庭で使用すること

### 超短波療法

#### ■ 超短波による局所の温熱効果

- 疲労回復
- 血行をよくする
- 筋肉の疲れをとる
- 筋肉のこりをほぐす
- 神経痛・筋肉痛の痛みの緩解
- 胃腸の働きを活発にする

### 低周波療法

- 肩こりの緩解
- 麻痺した筋肉の萎縮の予防
- マッサージ効果

- 疲労回復
- 血行をよくする
- 筋肉の疲れをとる
- 筋肉のこりをほぐす
- 神経痛・筋肉痛の痛みの緩解



## ●健康の3要素について……………

病気にかかるとあわてて医者に通ったりするのに、治るとまた不健康な生活に逆戻り。

これでは、いつまでたっても健康な生活を送ることはできません。

それよりも、病気にならない健康な身体をつくるのが大切。

毎日、バランスを考えて食事を取り、適度な運動をし、心や身体を休めること。

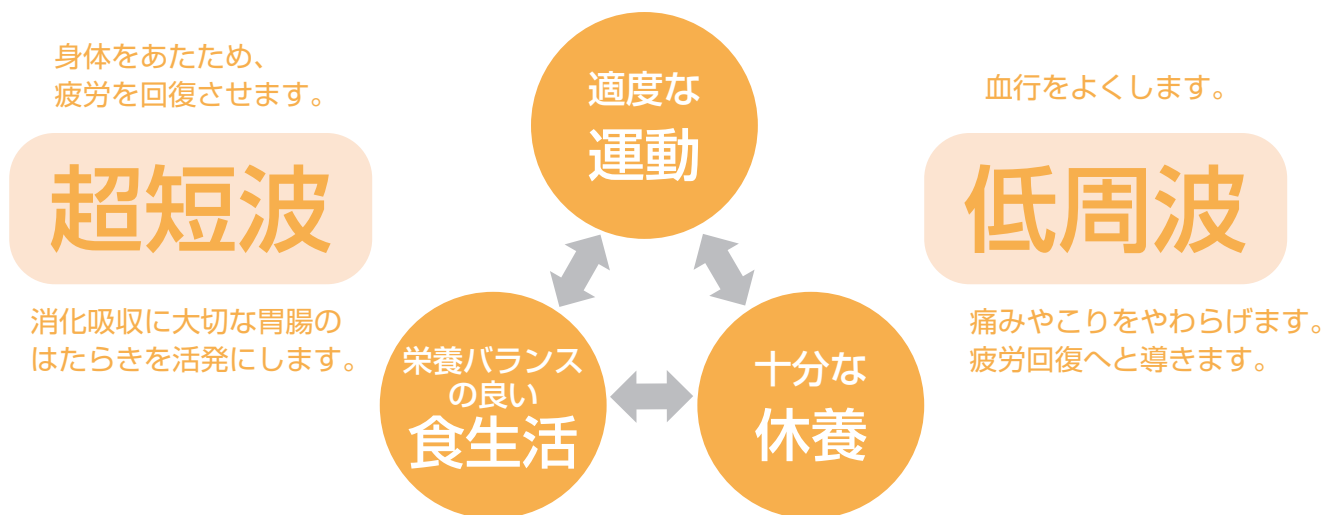
つまり、栄養・運動・休養が必要なのです。これを“健康の3要素”と言います。

## ●健康の3要素と電子療法の働き……………

「栄養バランスの良い食生活」・「適度な運動」・「十分な休養」の

3要素の調和が健康の秘訣です。健康の3要素を意識しながら、

超短波療法・低周波療法の2種類の電子療法を、健康的な生活にお役立てください。



## ●電子療法と健康の3要素……………

### 超短波療法

超短波をあてると、身体の内部からあたたまっていくのがわかります。この内部からの熱は、血行をよくし、胃腸のはたらきを活発にします。

### 低周波療法

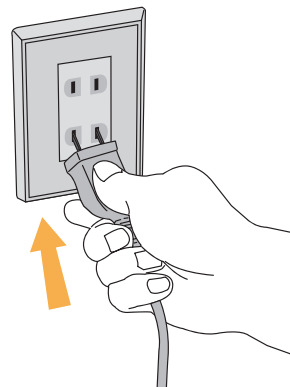
低周波は、電流の刺激で神経や筋肉にはたらきかけます。手足の神経を刺激し、痛みやマヒした筋肉の萎縮の予防などに効果があるとともに、筋肉をマッサージし、こりなどをやわらげ、血行をよくする効果があります。

# 低周波

# ご使用前の準備

## 1 電源プラグを差し込む

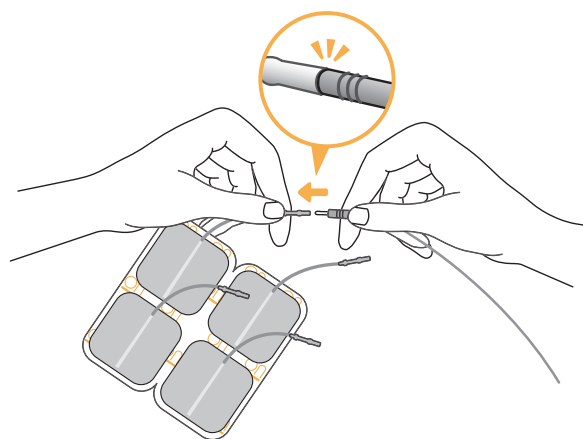
- 電源スイッチが「切」になっていることを確認します。
- 電源コードのプラグを100Vコンセントに差し込みます。



## 2 粘着パッドと接続コードをつなぐ

- 粘着パッドに接続コード〈φ2 赤・黒・低周波用〉の細い先端をしっかりと差し込みます。

※金属部分が見えなくなるまでしっかりと差し込んで下さい。



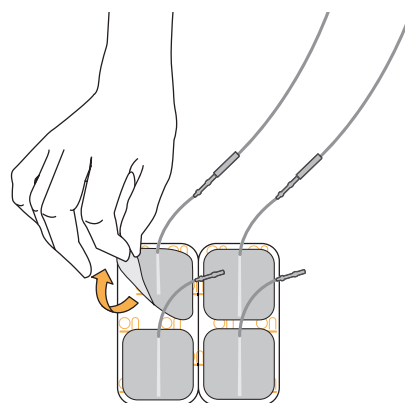
## 3 粘着パッドをセットする

- 粘着パッドをフィルムから剥がします。

※剥がすときは、粘着パッドの端をつまんでゆっくり持ち上げて下さい。

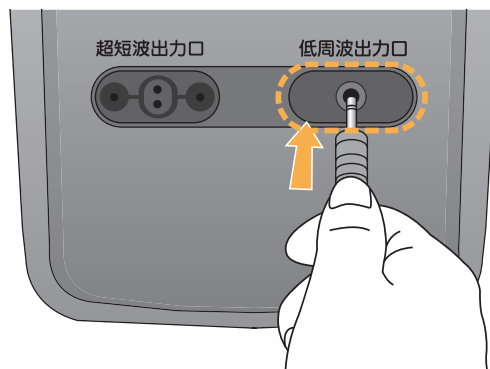
※接続コード部分を持って剥がさないで下さい。

- 粘着パッドを治療部位に貼ります。



## 4 本体に接続コードを差し込む

- 接続コード〈φ2 赤・黒・低周波用〉を本体の「低周波出力口」にしっかりと差し込みます。



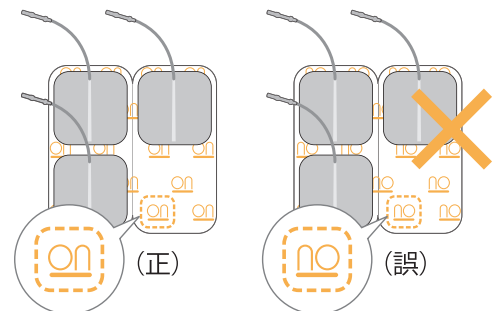
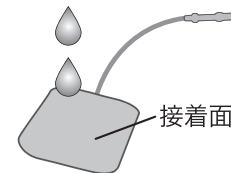
## ！ 初めて粘着パッドをお使いになる方へ

※お使いになる前に、肌に粘着パッドが合うかテストをしましょう。

- ①おなか・腕・太ももの内側など皮膚のやわらかい部分に粘着パッドを貼ってください。  
(粘着パッドに接続コードを接続しない)
- ②20分後、粘着パッドを貼っていた部分が赤くなったり、かゆみを引き起こした場合は、使用を中止してお買い求めの販売店または製造販売元までお問い合わせください。
- ③異常がないことをご確認の上、ご使用ください。

## 粘着パッドの保管について

- 粘着パッドは、乾燥してくると粘着力が低下します。粘着力が低下してきた場合、接着面の汚れや脂をとりのぞき、時々1～2滴の水をつけておくと長くお使いいただけます。
- 粘着パッドを保管する際には、透明フィルムの「on」と読める面に貼ってください。「no」と読める面に貼ると剥がれにくく、粘着パッドの寿命を縮めます。
- 粘着パッドの使用後は、元の透明フィルムに戻し、袋に入れ、室温で保存してください。
- 粘着パッドの袋に使用期限が表示してあります。期限切れの粘着パッドは使用しないでください。
- 粘着パッドは消耗品です。粘着力が低下しましたら交換してください。



## 粘着パッドの模倣品に対するご注意

安全に製品をご使用いただくために、当社で品質管理を実施しております純正の粘着パッドをご使用くださいますようお願い申し上げます。当社では模倣品が原因で発生した火傷事故・故障・その他の不具合などにつきましては、一切の責任を負いかねますのでご了承ください。本件については〈お客様センター〉までお問い合わせください。

### 〈お客様センター〉

**TEL : 048(254) 1019** 受付：平日午前10時～午後5時30分（土・日・祝日休み）

※担当者の不在などで、当日のご対応ができない場合もございます。ご迷惑をおかけいたしますが、何卒ご理解のほどお願い申し上げます。

## ⚠ 警告 粘着パッドについて

- 傷のある皮膚には使用しないでください。
- 湿布や絆創膏などの粘着物によりかぶれやすい方は注意してご使用ください。かぶれたり、赤くなったりすることがあります。
- 皮膚が荒れたり、火傷・炎症などを起こした際は直ちに使用を中止してください。
- 粘着パッドを透明フィルムや皮膚から剥がすときは、パッドの端をつまんでゆっくり持ち上げてください。コード部を持って剥がすようなことはしないでください。
- 皮膚にローション、オイルなど化粧品が残っている場合、粘着パッドが付きませんので皮膚を石鹸でよく洗い完全に乾かしてから貼り付けてください。
- 粘着パッドを貼り付ける際には、必ず皮膚に密着させてください。貼った部分に隙間があると刺激が強くなり痛みを感じ、場合によっては火傷などの皮膚障害を起こす恐れがあります。
- 粘着パッドを使用した際に、発疹・発赤・かゆみなどが現れたときは直ちに使用を中止し、販売元にご相談ください。
- 粘着パッドを使用するとき、金属物（ネックレス、ベルト、時計など）と重なったり、触れたりしないよう注意して貼ってください。また、粘着パッドは互いに重ならないように貼ってください。
- 運動・温熱（ホットパックなど）により発汗し皮膚表面が濡れている場合は、汗を乾いたタオルなどで拭き取ってから粘着パッドを装着してください。粘着パッドの上からホットパックなどで加温することは局所に熱が集中し火傷・炎症の原因となりますので絶対におやめください。
- 使用中の粘着パッドを身体の下に敷くなど、過度な力をかけますと、電流が一部分に集中し火傷・炎症の原因となりますので、絶対におやめください。
- 粘着パッドを皮膚から剥がすときは、必ず本体の電源スイッチを切ってください。
- 粘着パッドの使用後は元の透明フィルムに戻し袋に入れ、室温で保存してください。
- 粘着パッドの袋に使用期限が表示してあります。期限切れの粘着パッドは使用しないでください。
- 粘着パッドは消耗品です。粘着力が低下しましたら交換してください。
- 粘着力が弱くなった粘着パッドは、皮膚との接触状態により局所に電流が集中する可能性があり、火傷・炎症の原因となりますので、絶対に使用しないでください。
- 使用期限の切れたものや、粘着力が低下した粘着パッドをそのまま使用したり、テープ・バンド・下着などで固定して使用しても、適切な効果が得られないばかりでなく、急激に強い刺激がかかったり、場合によっては火傷などの皮膚障害を起こす恐れがありますので、絶対にしないでください。
- 接続コードの接続ピン部分が汚れていないか必ず使用前に確認してください。汚れている場合は、ぬるま湯、アルコールで湿らせた柔らかい布で汚れを拭き取ってください。汚れたまま使用しますと、接触不良による電流の急激な変化で、火傷・炎症の原因となる恐れがあります。また、接続部が緩くなった粘着パッドも接触不良を起こす可能性がありますので、新しいものに交換してください。

## 別売オプション品 ローラー&スポット導子〈SR-A〉の準備



**注意**

ローラー&スポット導子〈SR-A〉を使用する際は、「スポット」モードにてご使用ください。  
(それ以外のモードでは使用しないでください)

### 1 使用する電極を選ぶ

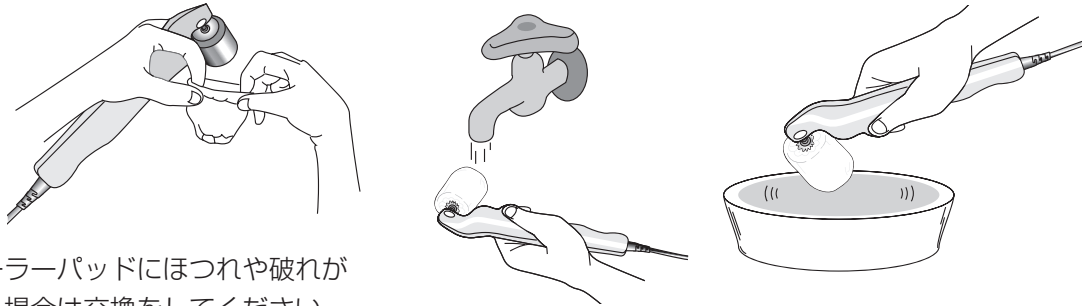
- ローラー&スポット導子〈SR-A〉は、3つの電極から選んで治療が行えます。治療部位、目的によって選んでください。

ローラー型……………広範囲の痛み・こりの治療におすすめ

ピン型・丸型……………患部の局所治療時におすすめ

### 2 電極を準備する

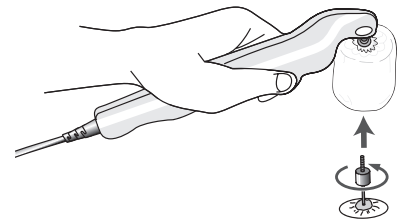
- ローラー型電極の場合：導子一体となっています。ローラーパッドを取り付け、パッドを水またはぬるま湯で水が垂れない程度に十分に濡らします。



※ローラーパッドにほつれや破れがある場合は交換をしてください。

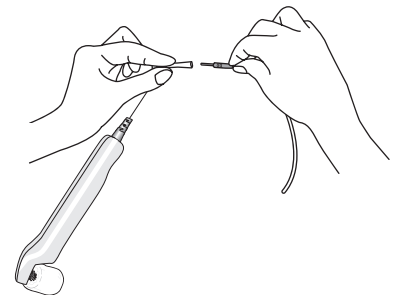
- ピン型・丸型電極の場合：専用のパッドを取り付け、導子(ローラー部)の電極差込口に取り付けます。

※ピン型・丸型電極を使用する場合もローラー部にローラーパッドをつけて使用してください。ただし、パッドを濡らす必要はありません。



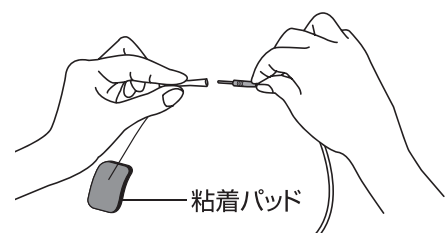
### 3 導子と接続コードをつなぐ

- ローラー&スポット導子〈SR-A〉に接続コード〈φ2 赤・黒・低周波用〉の細い先端をしっかりと差し込みます。



### 4 粘着パッドともう片方の接続コードをつなぐ

- 粘着パッドともう片方の接続コード〈φ2 赤・黒・低周波用〉の細い先端をしっかりと差し込みます。



### 5 本体とプラグをつなぐ

- 接続コード〈φ2 赤・黒・低周波用〉のプラグを本体の「低周波出力口」に確実に差し込みます。

# 低周波 本体の操作方法



## 1 電源を入れる

- 電源スイッチをしっかりと押して ( ), 電源を入れます。
- 操作パネルの各表示が点滅します。

※初期状態では「マルチカレント」に設定されています。  
 ※2回目以降は、前回使用時のモードが表示されます。



## 2 プログラムを選択する

- 低周波プログラム選択・停止スイッチを押し、操作パネルの表示に合わせてプログラムを選択します。
- 低周波プログラム選択・停止スイッチを1回押すごとに、低周波治療プログラム表示が次のような順番で切り替わります。

「マルチカレント」 → 「せきずい」 → 「スポット」  
 「アクティブ」 ←





### 3 治療を開始する

- 低周波出力設定スイッチ(▲)を押して出力を開始します。  
出力レベルは0~50の範囲で設定できます。

※治療中はタイマー表示の●が点滅します。

※注意：治療中にタイマー表示が0分になるとブザー音が鳴り、出力が停止します。続けて使用する場合は、再度、超短波治療開始・出力設定スイッチを押してください。

※定められた治療時間を超えて使用しないでください。

※使用中に本体から多少の音が出ますが、異常ではありません。



### 4 治療時間を設定する

- タイマー設定スイッチ(▲) (▼)を押して治療時間を設定します。

治療時間は初期状態で20分となっています。

また、5~30分の範囲で設定できます。(5、10、15、20、25、30分)

#### 治療を途中で中断する場合

- 治療を中断する場合は、以下のいずれかの方法を行います。
  - ・低周波プログラム選択・停止スイッチを押す。
  - ・出力設定スイッチ(▼)を押して出力レベルを“0”にする。
  - ・タイマー設定スイッチ(▼)を押してタイマー設定を“0”にする。
- 治療を再開する場合は、本体の操作方法「3 治療を開始する」の操作に従ってください。

⚠中断時の注意 長時間中断する際は、必ず電源を切ってください。

### 5 治療の終了と延長

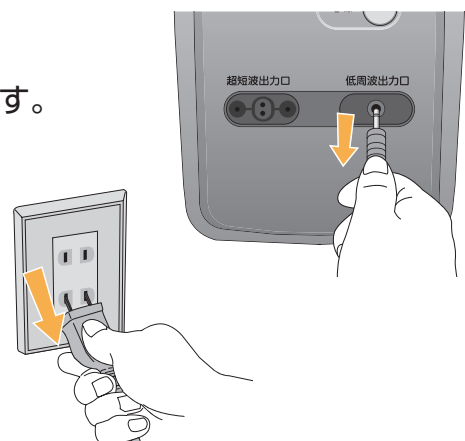
- 治療が終了するとタイマー表示が“0”を表示し、ブザー音が鳴り、出力が自動的に切れます。
- 治療を引き続き行う場合は「2 プログラムを選択する」(P.26)に戻り、手順に従ってください。
- 治療を終了する場合は、電源スイッチを押して電源を切ります。



### 6 整理、保管について

- 使用した接続コードのプラグを低周波出力口から抜きます。
- 粘着パッドを接続コードから外します。
- 電源コードのプラグをコンセントから抜きます。
- 次の使用に支障がないように本体及び付属品を清浄にし、整理保管してください。

※付属品の収納には付属品収納袋をご使用ください。



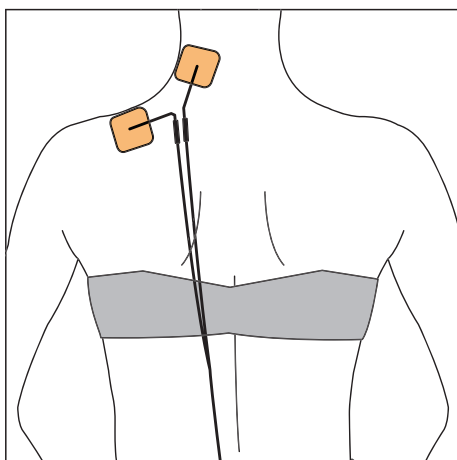
# 低周波 基本的な使用例

## 治療部位 一例

粘着パッドは肌に密着させてください。汗などで肌が汚れていると粘着パッドが貼り付きにくくなるので、タオルなどでしっかりと汗を拭き取ってください。

### マルチカレント

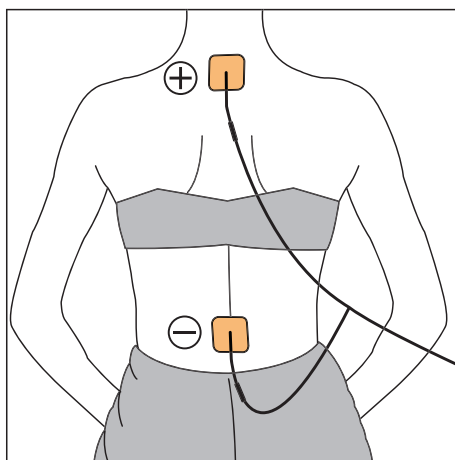
身体を心地よく刺激し、筋肉のこりをやさしくほぐします。



肩の治療例

### せきずい

心地よい電流の刺激で神経の痛みをやわらげます。

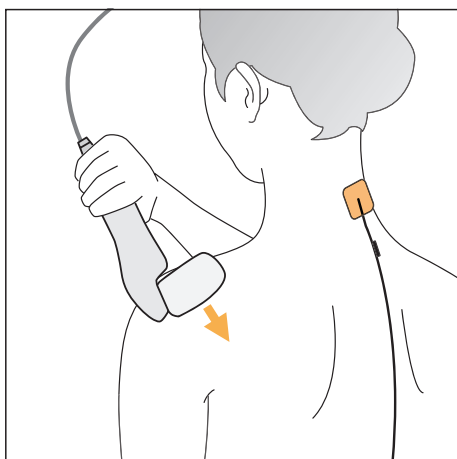


せきずいの治療例

接続コードの先端部分が赤い方が ⊕、黒い方が ⊖ になります。

### スポット

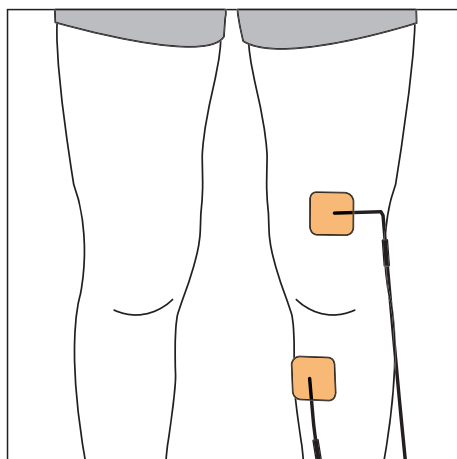
ローラー型：広範囲の痛み・こりの治療に  
スポット型：患部の局所治療に



別売オプション品(ローラー & スポット導子 (SR-A)) を使用します。

### アクティブ

筋肉の萎縮予防のためのトレーニングプログラムです。

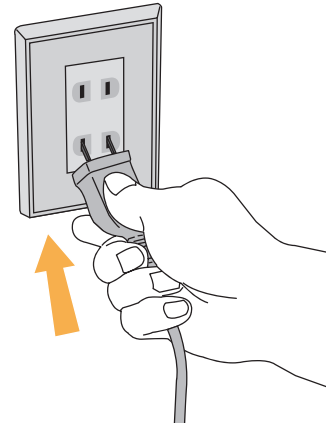


膝の治療例

# 超短波 ご使用前の準備

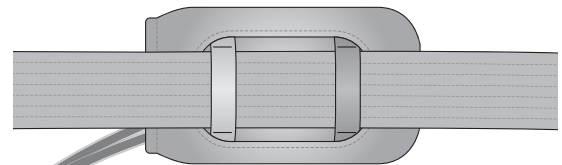
## 1 電源プラグを差し込む

- 電源スイッチが「切」になっていることを確認します。
- 電源コードのプラグを100Vコンセントに差し込みます。



## 2 導子にベルトをセットする (導子カバー、装着ベルト〈L・AW〉)

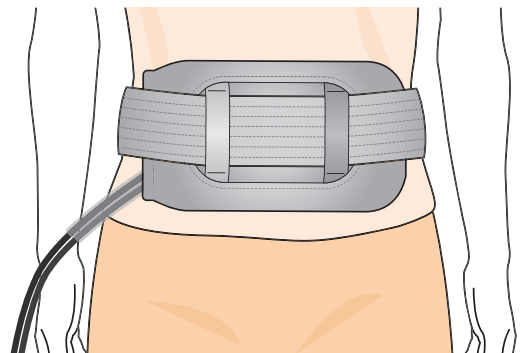
- 導子に装着ベルト 〈L・AW〉 を通します。



オレンジ導子 〈Sひまわり〉

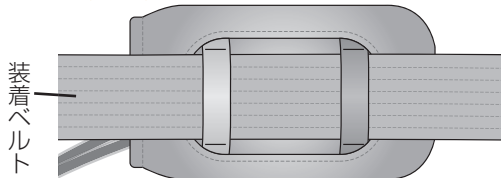
## 3 治療部位にあてる

- 導子はベルト通しのついていない面を身体にあてます。



※身体にあてる面は

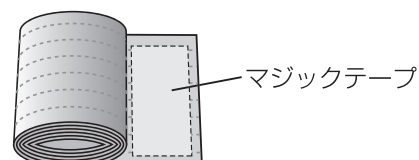
✗ こちらの面ではなくて



○ こちらの面を使います。



- マジックテープで装着ベルト 〈L・AW〉 を固定します。



## 超短波

## ご使用前の準備 (つづき)

### 4 導子のプラグを差し込む

- 使用する導子のプラグを超短波出力口に確実に差し込みます。



### 導子カバーのセット方法

- ①導子カバーの開いた口から導子を入れます。導子のベルト通しがカバーの穴から見える向きにセットします。
- ②奥まできちんと入れた状態で、導子のベルト通しが確認できればセット完了です。

※別売オプション品 超短波スポット導子〈ハンドル付・Sひまわり〉の組み立て方法はP.31をご覧ください。



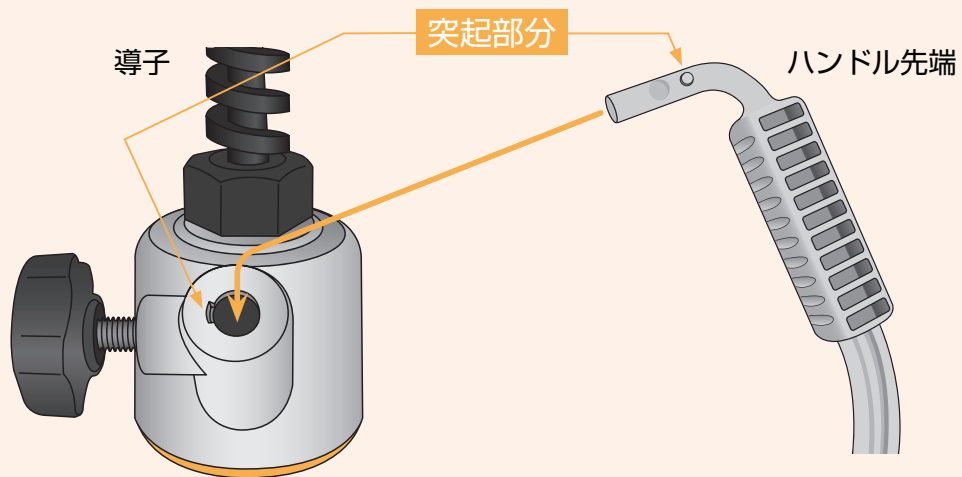
別売オプション品

## 超短波スポット導子 〈ハンドル付・Sひまわり〉の 組み立て方法

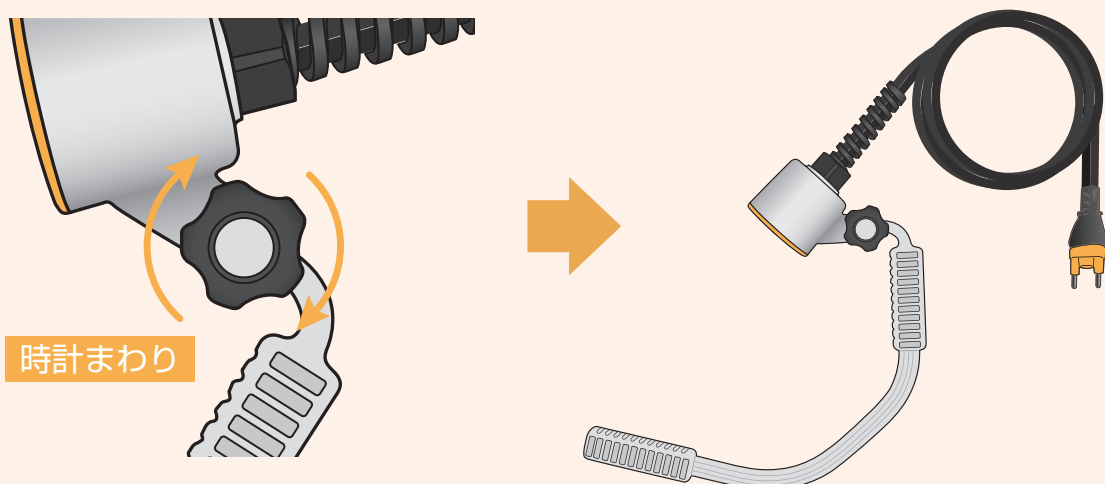
- 導子部分とハンドル接続部分を組み合わせます。
- すぐに外れないよう強めに締めてください。

### 1 スポット導子にハンドルをセットする

※下図を参考に、導子側の突起とハンドル先端の突起部分を合わせ、奥まで差し込んでください。



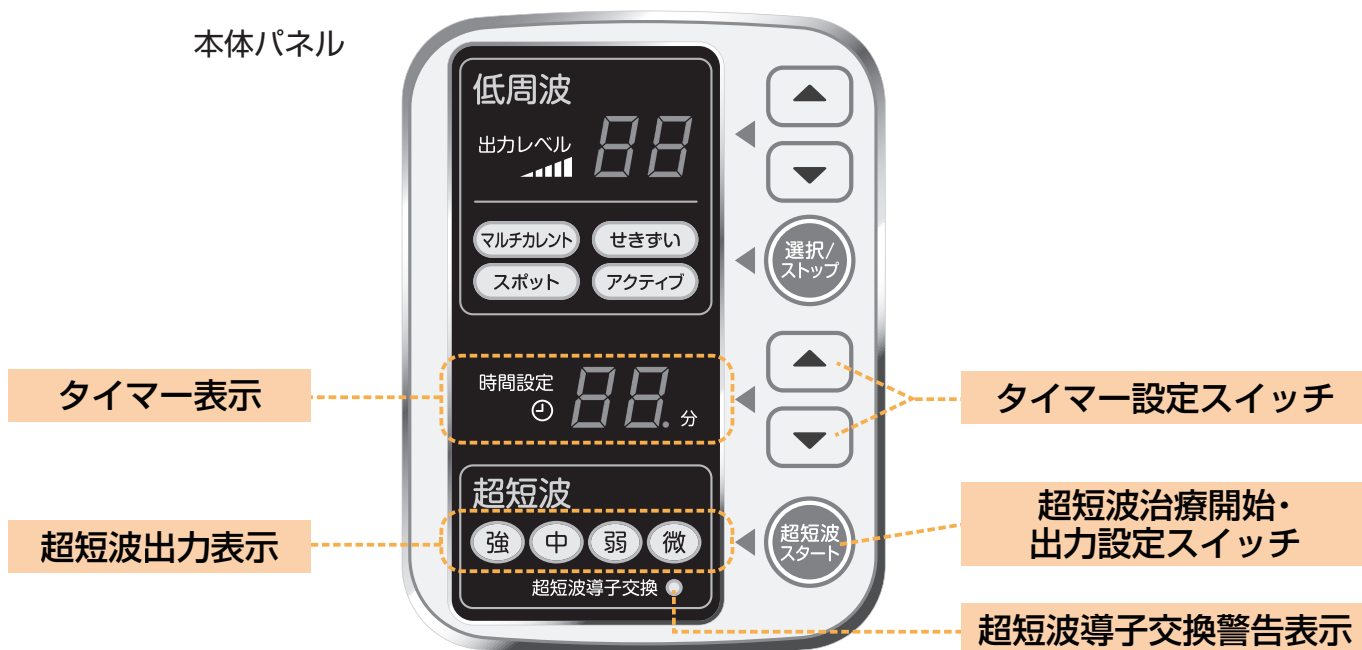
### 2 スポット導子のナットを時計まわりに締めます




- ※ナットの締めすぎは破損の原因となります。
- ※治療を終える場合は、逆の手順で取り外してください。
- ※接続部の破損を防ぐため、取り外して保管してください。

# 超短波 本体の操作方法

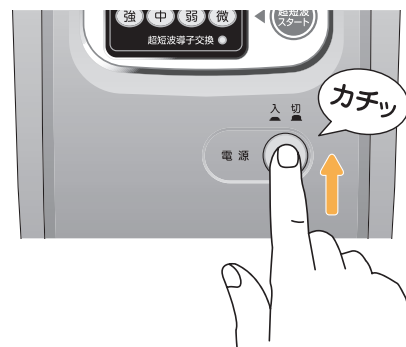
本体パネル



## 1 電源を入れる

- 電源スイッチをしっかりと押して (  ), 電源を入れます。
- 電源を入れると全てのLEDが点灯し、ブザー音が鳴ります。

※電源スイッチが「入」になっていることを確認してください。



- LED点灯後、タイマー表示に“20”が表示されます。

※2回目以降は、前回設定した使用時間・出力が表示されます。  
 ※導子の使用時間が決められた時間を超えている場合は、超短波導子交換警告表示が点灯します(※P.13「交換部品及び消耗品」をご覧ください)。

※この時点ではタイマーの設定はできません。





## 2 治療を開始する

- 超短波治療開始・出力設定スイッチを1回押すごとに、超短波出力表示が次のような順番で切り替わります。



- 選んだ出力の超短波出力表示が点灯し、出力が開始されます。

※治療中はタイマー表示の●が点滅します。

※注意：治療中にタイマー表示が0分になるとブザー音が鳴り、出力が停止します。続けて使用する場合は、再度、超短波治療開始・出力設定スイッチを押してください。

※定められた治療時間を超えて使用しないでください。

※使用中に本体から多少の音が出ますが、異常ではありません。



## 3 治療時間を設定する

- タイマー設定スイッチで、治療時間を設定します。

▲を押すとタイマー表示が5分ごとに変わります。

5分→10分→15分→20分→25分→30分

▼を押すとタイマー表示が5分ごとに変わります。

30分→25分→20分→15分→10分→5分



## 4 出力を変更する場合

- 出力中に超短波治療開始・出力設定スイッチを押すことで、出力（微・弱・中・強）を変更することができます。



## 超短波 本体の操作方法 (つづき)

### 設定時間の変更

- 出力中にタイマー設定スイッチを押すことで時間を変更できます。  
治療時間を延ばしたい場合は ▲ を、縮めたい場合は ▼ を押してください。

### 治療を途中で中断する場合

- 治療を中断する場合は、タイマー設定スイッチ ▼ を押して、時間設定を「0」分にします。
- 治療を再開する場合は、本体の操作方法「2 治療を開始する」(P.33)の操作に従ってください。
- 治療を再設定する場合は、本体の操作方法「4 出力を変更する場合」(P.33)に戻り操作に従ってください。

⚠ **中断時の注意** 長時間中断する際は、必ず電源を切ってください。

### エラー E1 について

治療中に導子が抜けたり、異なる機能の導子が接続された場合“ピーピーピー”と警告音が鳴り「E1」が表示されます。出力口に確実に差し込んでください。


※詳しくは、P.39「エラー (E1～E5) について」をご覧ください。

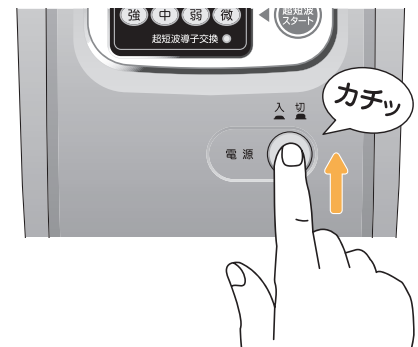
### ⚠ 注意

- 導子の使用時間が、定められた使用時間を超えている場合は導子を交換してください。
- 使用前にスイッチなどを操作し、治療器が正しく作動することを確認してください。
- 濡れた手でコード類の抜き差しをしないでください。
- コード類はプラグを持って抜き差ししてください。
- 治療をしながら電話（携帯電話を含む）を使用しないでください。また、使用中の電話機の近くで治療しないでください。
- 他の電気製品の近くで使用すると、電気製品が異常を起こす恐れがあるので使用しないでください。
- 使用中、プラグの抜き差しをしないでください。
- 他の人や金属類に触れないでください。
- 温感が高いと感じたら我慢せずに使用を中止してください。
- 汗をかいたら拭き取ってください。
- 本器や身体に異常を感じたら使用を中止してください。
- 使用中に超短波導子やコードに触れないでください。導子などに触れる場合は、一度電源を切ってください。

※詳しくはP.2～13「正しく安全にお使いいただくために」をご覧ください。

## 5 治療の終了と延長

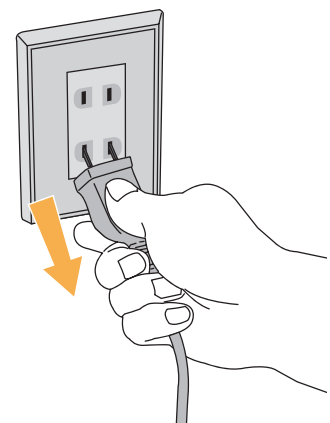
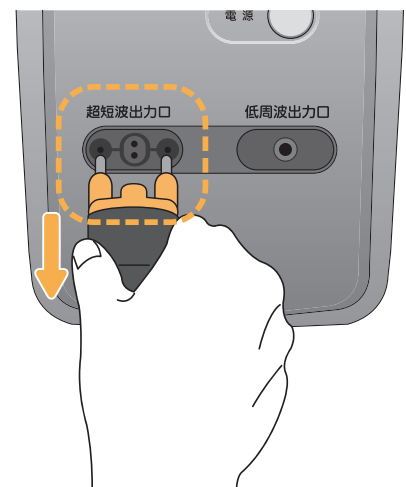
- タイマーが0分になると、ブザー音が鳴り出力が自動的に切れます。
- 治療を引き続き行う場合は、本体の操作方法「2 治療を開始する」(P.33)に戻り、手順に従ってください。
- 治療を終了する場合は、電源スイッチをしっかりと押して (  の状態)、電源を切ります。



## 6 整理、保管について

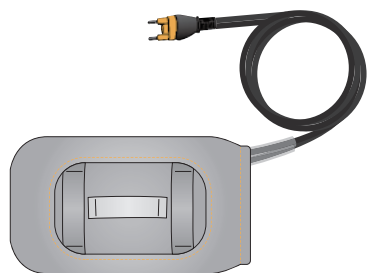
- 電源が切れていることを確認してから使用した導子を超短波出力口から抜き、電源コードのプラグをコンセントから抜きます。
- 次の使用に支障がないように、本体及び付属品を清浄にし、整理保管してください。

※付属品の収納には付属品収納袋をご使用ください。



# 超短波 基本的な使用例

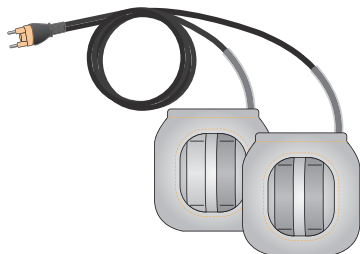
## 治療にあたって



オレンジ導子〈Sひまわり〉

超短波のエネルギーが皮下脂肪組織層より、さらに深部の筋肉組織層へ作用します。脂肪層に囲まれた胃や腸などへの治療に役立ちます。

別売オプション品

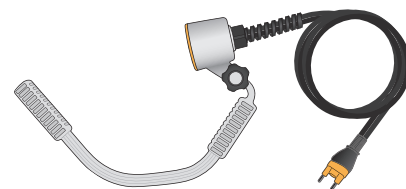


ピンク導子〈Sひまわり〉

治療部位を挟んで使用します。脂肪層の少ない肩や膝、足首などへの治療に役立ちます。

別売オプション品

※組み立て方法はP.31をご覧ください。



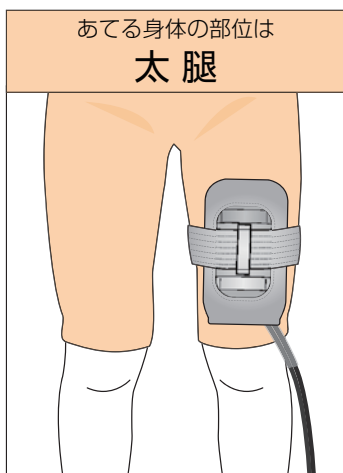
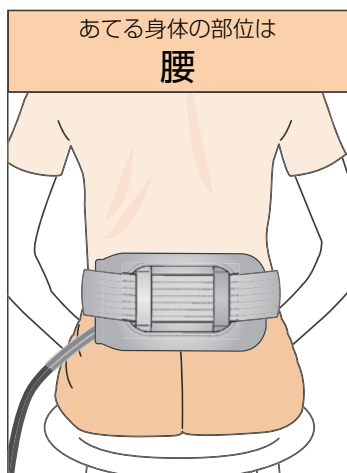
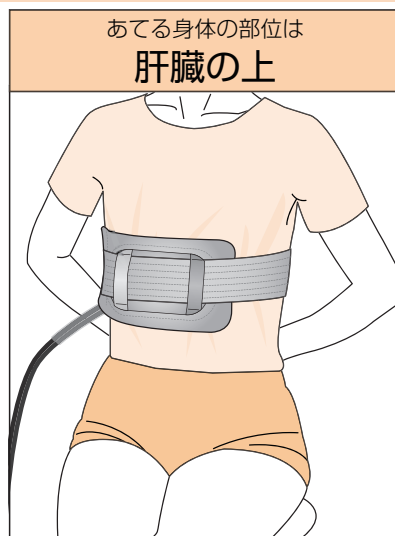
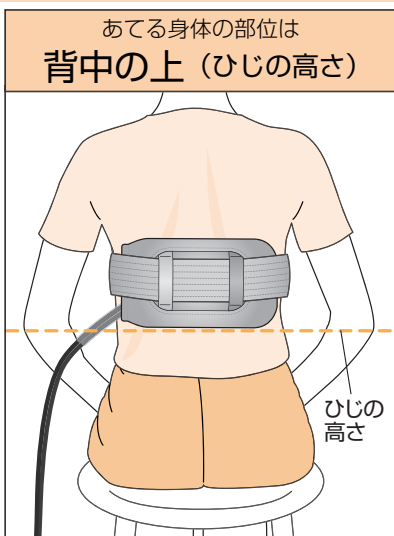
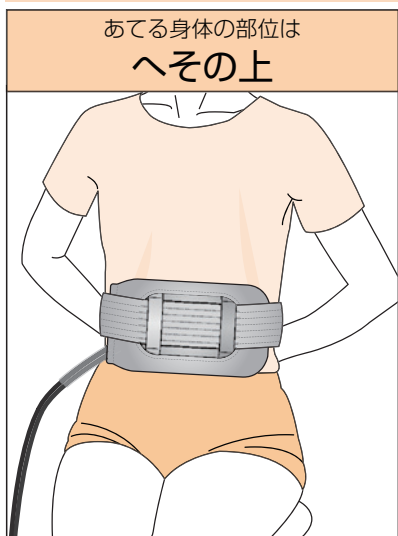
超短波スポット導子〈ハンドル付・Sひまわり〉

導子の先端を治療部位にあてて治療します。背中など手の届きづらい部位の治療に役立ちます。

## オレンジ導子〈Sひまわり〉の使用例

脂肪層に囲まれている腹部はオレンジ導子〈Sひまわり〉を使いましょう。

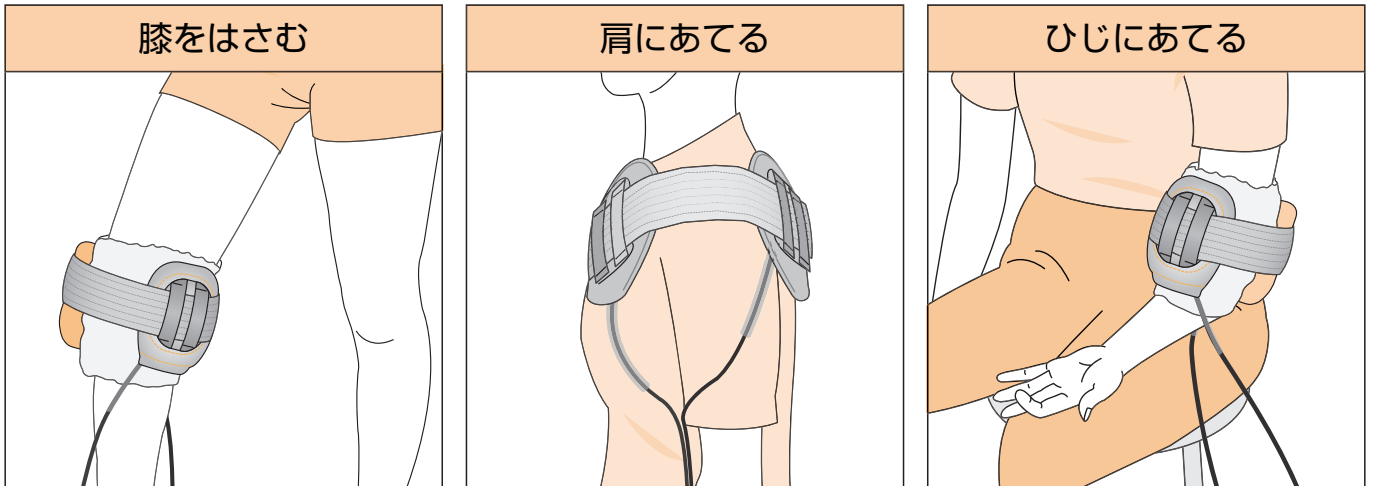
### 基本療法



別売オプション品 **ピンク導子〈Sひまわり〉の使用例**

脂肪層の少ない肩や膝などの部位はピンク導子〈Sひまわり〉を使いましょう。

基本療法



別売オプション品 **超短波スポット導子〈ハンドル付・Sひまわり〉の使用例**

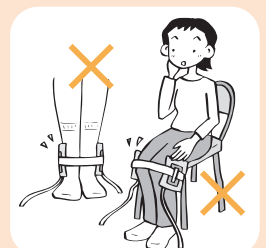
背中など直接手の届きづらい部位は超短波スポット導子〈ハンドル付・Sひまわり〉を使いましょう。



**導子を使用する際の警告**

下記の点に注意して、正しく導子を使用してください。

- 超短波スポット導子の使用時は、必ずハンドルを持って治療してください。
- 出力時、ハンドル以外の部分には触らないでください。
- 導電性の衣類を着用して治療しないでください。
- 使い捨てカイロやネックレス、ベルトなどの金属類は身体から外してください。
- 導子は素肌の上から直接あてないでください。必ず乾いたタオルや服の上からあててください。
- (電位・高周波・負電荷を含む) 電床マットの上では、絶対に治療しないでください。
- 治療するときは皮膚の汗などを拭いてください。
- 濡れている導子は使用しないでください。
- 治療前にスイッチなどを操作し、治療器が正しく作動するか確認してください。
- 導子は必ず装着ベルトで固定してください。
- 治療中に超短波導子やコードに触れないでください。導子などに触れる場合は、一度電源を切ってください。
- 厚手の衣服やタオルを厚めにして使用した場合、温感が感じにくい場合があります。
- 足首や膝を合わせた状態で導子をあてる治療は、絶対にしないでください。タオルなどをあてがっても左右の足が触れることがあり、接触部に火傷を起こす可能性があります。



# こんなときどうしたらいいの？

## 操作音を消したい

- ①全ての導子・接続コードを出力口から外します。
- ②選択/ストップスイッチを長押し(約3秒)すると“ピッ”という音が鳴り、操作音が消えます。



- 操作音が消えている状態で同様の操作を行うと、操作音が鳴るようになります。



# エラー（E1～E5）について

治療中に不具合が発生したとき、エラー音が鳴るとともに治療タイマー表示部にエラー（E1～E5）が表示されます。下記に従って対応してください。

表示	主な状況	対応
E1	低周波出力口に接続コードのプラグが正しく差し込まれていない。または、プラグが抜けている。または、治療中に接続コードのプラグが抜けた。	接続コードのプラグを低周波出力口に確実に差し込んでください。その後、出力設定スイッチを押してください。 停止したときの残時間から開始します。
	超短波出力口に導子のプラグが正しく差し込まれていない。または、プラグが抜けている。または、治療中に導子のプラグが抜けた。	導子のプラグを超短波出力口に確実に差し込み、超短波治療開始・出力設定スイッチを押してください。停止したときの残時間から開始します。
E2	粘着パッドが身体から剥がれた。	粘着パッドを確実に貼り付けてください。その後、いずれかのスイッチを押してエラーを解除し、出力設定スイッチを押してください。 停止したときの残時間から開始します。
	低周波用の接続コードが断線した。	粘着パッドが身体に確実に貼り付けられていることを確認してください。それでもエラーが表示される場合は、傷や変形、内部の断線など接続コードの故障の可能性があります。使用を中止し、販売店または製造販売元へご連絡ください。
E3	低周波出力口と超短波出力口の両方に接続コード/導子が接続されている。	接続コード、または導子のいずれかを外してください。
E4	本体の異常が考えられる。	電源を入れ直してください。それでもエラーが表示される場合は使用を中止し、販売店または製造販売元へご連絡ください。
E5	本体の異常が考えられる。	電源を入れ直してください。それでもエラーが表示される場合は使用を中止し、販売店または製造販売元へご連絡ください。

# 故障かな？と思ったら

●修理・サービスを依頼される前に、次の表に従ってお確かめください。

症 状	調べるところ・原因・対策
電源が入らない	電源プラグが100Vコンセントに差し込まれていますか？
出力スイッチを押しても出力表示ランプが点灯しない	導子がきちんと差し込まれていますか？ ※P.39「エラー（E1～E5）について」をお読みください。

●電源プラグやコネクター、コード類は、定期的に点検・交換してください。



**注意**

3年以上使用した付属品による事故については、当社は責任を負い兼ねる場合がありますので、あらかじめご理解をお願いいたします。

症 状	原因・対策
コードのカバーが傷んでいる	電源プラグやコネクター、コード類が傷んでいます。そのままの状態を使い続けると、感電や火災の原因になります。  直ちに電源プラグを抜いて、販売店に修理を依頼してください。
使用中、電源プラグやコネクター、コードの一部が熱い	
使用中にコード類を曲げたり伸ばしたりすると、通電が停止する	

## 定期点検を 受けましょう!

本体や付属品は安全に使用し、性能を維持するために定期的(1年を目安)に点検を受けましょう。特に付属品は消耗品ですので、定期的に点検し、3年以内で早めに交換してください。

※使用状態により異なりますので、販売店または製造販売元へお問い合わせください。

## お客様 センター

ご不明な点がございましたらお気軽にお電話ください。

**TEL. 048 (254) 1019**

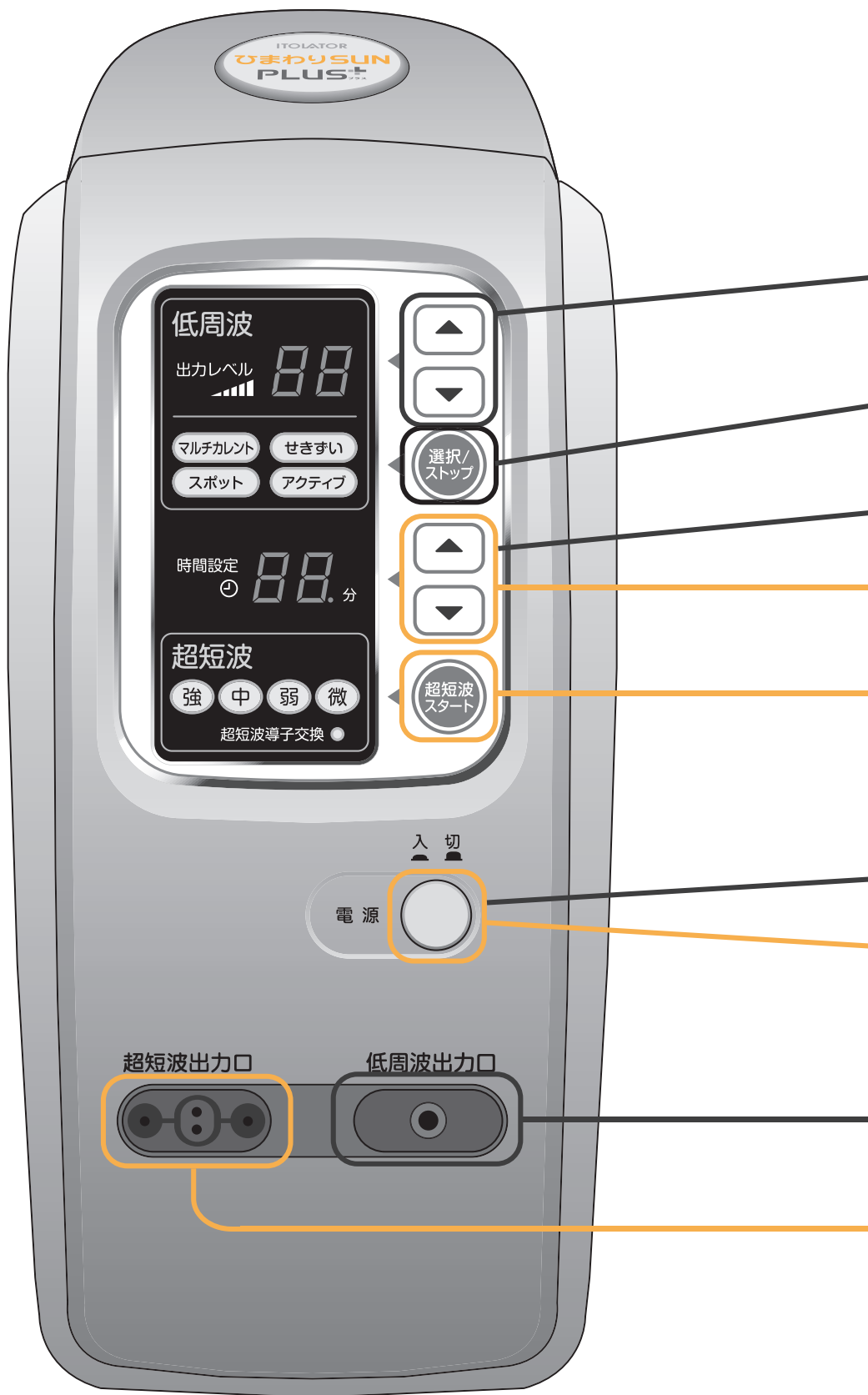
受付：平日(月～金曜日) 午前10時～午後5時30分 (土・日・祝日休み)

※担当者の不在などで、当日のご対応ができない場合もございます。

ご迷惑をおかけいたしますが、何卒ご理解のほどお願い申し上げます。

# 操作早

- 低周波
- 超短波



本取扱説明書の注意事項をよくお読

# わかり

**3**

低周波出力設定スイッチを押してください。

**4**

低周波プログラム選択・停止スイッチを押してください。

**5**

タイマー設定スイッチで治療時間を変更できます。

**4****3**

出力設定スイッチを押してください。

**2**

電源スイッチを押してください。

**2****1**

出力口に接続コードを差し込んでください。

**1**

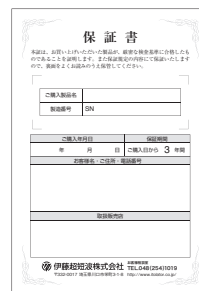
出力口に導子を差し込んでください。

## お客様安心サービス

### 保証書とユーザー登録カードについて

#### 保証書について

修理などアフターサービスを受ける際に必要となりますので大切に保管してください。保証期間中の修理などアフターサービスについてご不明な場合は、お買い求めの販売店または伊藤超短波株式会社にお問い合わせください。



#### ユーザー登録カードについて

ご住所・生年月日・お買い求めの販売店などをご記入の上、郵便ポストに投函してください。

※ご記入いただく個人情報は、弊社製品・サービスの提供及びご案内、ユーザーサポート、商品に関する研究及び企画開発などのために、弊社及び販売店が利用させていただきます。

ユーザー登録カード 記入は順番でゆっくりとお書きください。

フリガナ	ご購入年月日	
ご姓	年 月 日	
生年月日	年 月 日	性別 男女
ご住所	〒	
電話番号	FAX	
e-mail		

※ご記入いただく個人情報は、弊社製品・サービスの提供及びご案内、ユーザーサポート、商品に関する研究及び企画開発などのために、弊社及び販売店が利用させていただきます。  
プライバシーポリシーについては、弊社ホームページをご覧ください。http://www.itolator.co.jp/

## アフターサービス

機器の操作方法や治療法、その他のお問い合わせは

### お客様センター

TEL.048(254)1019 FAX.048(254)1049

受付：平日午前10時～午後5時30分（土・日・祝日休み）

※担当者の不在などで、当日のご対応ができない場合もございます。ご迷惑をおかけいたしますが、何卒ご理解のほどお願い申し上げます。

#### ISO 認証取得

当社は医療機器品質マネジメントシステム ISO 13485 を取得しています。

## 健康セミナー

とってもあったかい集いにぜひご参加ください

健康に関するさまざまなテーマを取り上げ、情報を交換したり、健康相談をしたりして充実したひと時を過ごせるイベントです。どなたでもご自由に参加いただけますので、お気軽にお集まりください。

※詳しくは、お買い上げの販売店または、最寄りの営業所までどうぞ。

※各地でのセミナー開催スケジュールにつきましては、当社ホームページをご覧ください。



製造販売元  伊藤超短波株式会社

〒332-0017 埼玉県川口市栄町3-1-8

☎048(254)1015

https://www.itolator.co.jp/



コンシューマー営業部

東日本営業所（埼玉県）☎048(254)1016

西日本営業所（広島県）☎082(292)3320

販売店